

国際関係論 専攻 領域（博士前期/修士・博士後期・前後期共通）

試験科目：第 外国語（ ） / 専門科目（国際関係論）

試験時間：（ 90 ）分

以下の1～4の設問から、留学生入試受験者は1つを、それ以外の受験者は2つを選択して答えなさい。選択した設問ごとに別の回答用紙を用い、氏名などの必要事項を記入した後、それぞれの設問番号を解答用紙の左上欄に記入すること。同一問題について2枚以上の回答用紙を用いる場合は、1-(1)、1-(2)のように記入すること。

1. 「国際関係はパワーによって規定される」。①この命題の妥当性を示す事例を説明したうえで、②想定される反論を検討し、③それに対する再反論を行ってください。

2. 現在のグローバルな問題を一つ選び、その解決に関する国家領域と経済領域以外の「市民社会」のアクターが現実を果たしてきた役割を具体的な事例を用いて説明し、その可能性と限界について論じてください。

3. 現代の貧困と歴史との関連性について、どのような歴史的過程が現在のどのような貧困の構造に結びついているのか、事例を幾つか挙げて、それぞれに対するあなたの意見とその根拠を述べてください。

4. 20世紀後半以降の地域主義について、特に安全保障分野での展開を一つ以上の具体例を挙げて論じなさい。その際、その地域主義が国家や地域の安全に寄与できた／できなかった要因を挙げなさい。寄与できなかった要因を挙げた場合には、その時代の状況下で考えられうる対処策にも言及しなさい。